

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年次	2単位	選択	講義
担当教員				
根本泰行				
建学の精神に関わる科目				

授業概要	この授業では、まず、身体・社会・エネルギー・環境の各観点から「人間とは何か」を考察することにより、自らが宇宙に単子としてではなく過去・現在の社会・未来の人間たちのつながりの中に存在していることを理解する。つぎに、過去に存在した人間たちの生き様を知るとともに、「脱成長」「シンギュラリティ」といった言葉に代表される人間社会の未来について考察することにより、将来社会人になってから課題解決していくための基礎的な考え方を習得する。
授業計画	<p>第1回 ガイダンス・人間の誕生まで 予習：予め指示された資料・動画を確認した上で、要点や疑問点をノートにまとめておく。 復習：課題について解答する。</p> <p>第2回 人間の誕生 予習：予め指示された資料・動画を確認した上で、要点や疑問点をノートにまとめておく。 復習：課題について解答する。</p> <p>第3回 人間と心 予習：予め指示された資料・動画を確認した上で、要点や疑問点をノートにまとめておく。 復習：課題について解答する。</p> <p>第4回 人間と身体 予習：予め指示された資料・動画を確認した上で、要点や疑問点をノートにまとめておく。 復習：課題について解答する。</p> <p>第5回 人間と食 予習：予め指示された資料・動画を確認した上で、要点や疑問点をノートにまとめておく。 復習：課題について解答する。</p> <p>第6回 人間と判断 予習：予め指示された資料・動画を確認した上で、要点や疑問点をノートにまとめておく。 復習：課題について解答する。</p> <p>第7回 人間と言葉 予習：予め指示された資料・動画を確認した上で、要点や疑問点をノートにまとめておく。 復習：課題について解答する。</p> <p>第8回 人間と物語 予習：予め指示された資料・動画を確認した上で、要点や疑問点をノートにまとめておく。 復習：課題について解答する。</p> <p>第9回 人間とお金 予習：予め指示された資料・動画を確認した上で、要点や疑問点をノートにまとめておく。 復習：課題について解答する。</p> <p>第10回 環境破壊する人間 予習：予め指示された資料・動画を確認した上で、要点や疑問点をノートにまとめておく。 復習：課題について解答する。</p> <p>第11回 技術開発する人間 予習：予め指示された資料・動画を確認した上で、要点や疑問点をノートにまとめておく。 復習：課題について解答する。</p> <p>第12回 宇宙進出する人間 予習：予め指示された資料・動画を確認した上で、要点や疑問点をノートにまとめておく。 復習：課題について解答する。</p> <p>第13回 変わる人間社会 予習：予め指示された資料・動画を確認した上で、要点や疑問点をノートにまとめておく。 復習：課題について解答する。</p> <p>第14回 変わる人間—人間拡張とシンギュラリティ— 予習：予め指示された資料・動画を確認した上で、要点や疑問点をノートにまとめておく。 復習：課題について解答する。</p> <p>第15回 総まとめ・マイノリティデザイン 予習：予め指示された資料・動画を確認した上で、要点や疑問点をノートにまとめておく。 復習：課題について解答する。 ◆アクティブ・ラーニング◆ グループワーク 5回 映像活用学習 授業後レポート</p>
実務経験に基づく知識の伝達	担当教員は、企業や海外の大学における実務経験から得た知見を伝えるように努める。
学修・教育目標に対する科目の位置付け	<p>新入生諸君に対して、一人一人の潜在能力としてのヒューマンパワーを呼び起こし、各人の固有な能力を最大限発揮しうるように、工学を主題としつつも人文・社会的な視点も含めて講義を行うように努める。これにより、それぞれの学科の専門課程において自分の夢を実現しうるのみでなく、将来、社会人となっても環境問題など各種の課題に対して倫理観を持って総合的に判断し、決断することのできる「心あるエンジニア」の育成を心がけている。</p> <p>(学修・教育目標1)【幅広い視野と技術者倫理の涵養】</p>

	授業時間：90分×15回 予習復習の時間：3時間×15回
教科書	毎回パワーポイントで講義資料を作成する。
参考書	その都度参考書を指示して図書館を利用するように指導する。
評価基準及び成績 評価方法	毎回の小テストで評価する。60点以上を合格とする。この授業を通じて到達すべき目標は、将来において対面する各種課題に対して倫理観を持って総合的に判断するための素養を身につけることである。 授業への積極的な参加の姿勢のない学生（私語・授業と関係ないことをしている学生、寝ている学生）には退出してもらい、その回については欠席扱いとする。
達成度の伝達及び 達成度評価	◎達成度の伝達 毎回の小テストで達成度を確認し、翌週以降の授業でその解説を行うことにより理解の深化に努める。 ◎達成度評価 (100) ① 幅広い視野と技術者倫理の涵養 ( ) ② コミュニケーション能力と表現力の涵養 ( ) ③ 自然科学の理解 ( ) ④ 専門知識の確実な修得と実務に応用できる能力の修得 ( ) ⑤ 積極性と自己学修の習慣 ( ) ⑥ 知識を統合し計画的に作業を進める能力の育成
資格情報	
オフィスアワー	教員のオフィスアワーは後日公開される。
備考	
履修登録条件	